

令和7年度医療機関等看護職員需要調査 ダイジェスト

1. 調査概要

(1) 調査地域
愛知県全域

(2) 調査対象
県内病院、診療所、介護老人保健施設、介護老人福祉施設及び訪問看護ステーション（病院、有床診療所、介護老人保健施設、介護老人福祉施設及び訪問看護ステーションについては全数。無床診療所については3割無作為抽出）

(3) 調査手法
郵送依頼、WEB回収

(4) 調査日程
2025年8月1日～2025年9月5日

(5) 有効回答率

施設区分	発送数	回収数	回収率	有効回答数	R7 有効回答率	R6 回収率	差 (回収率)
病院	306	170	55.6%	167	54.6%	58.5%	▲2.9%
診療所	1,701	127	7.5%	119	7.0%	12.5%	▲5.0%
介護老人保健施設	171	51	29.8%	50	29.2%	20.8%	9.0%
介護老人福祉施設	412	62	15.0%	61	14.8%	23.3%	▲8.3%
訪問看護ステーション	1,280	275	21.5%	260	20.3%	31.1%	▲9.6%
合計	3,870	685	17.7%	657	17.0%	25.1%	▲7.4%

(6) 回答施設の概要

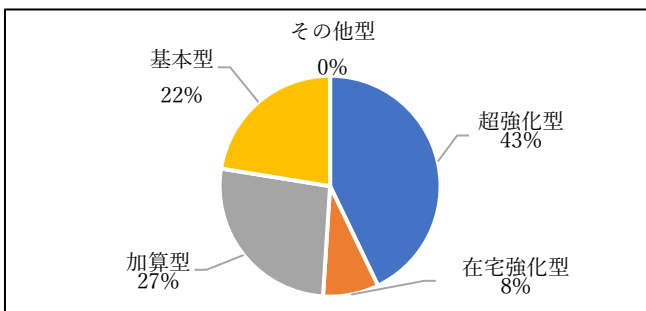
病院

規模別	参加施設数	割合
500床以上	25	15.0%
400～499床	8	4.8%
300～399床	14	8.4%
200～299床	29	17.4%
100～199床	57	34.1%
20～99床	34	20.4%

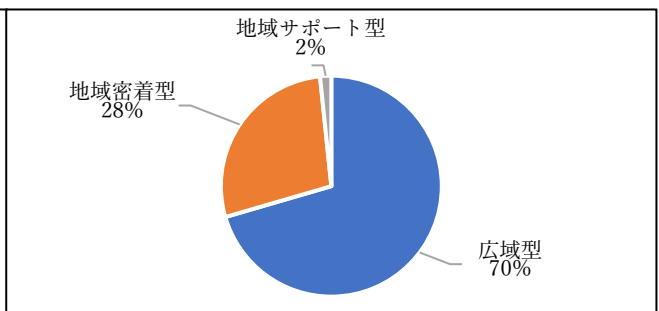
診療所

有床・無床別	参加施設数	割合
有床	16	14.2%
無床	97	85.8%

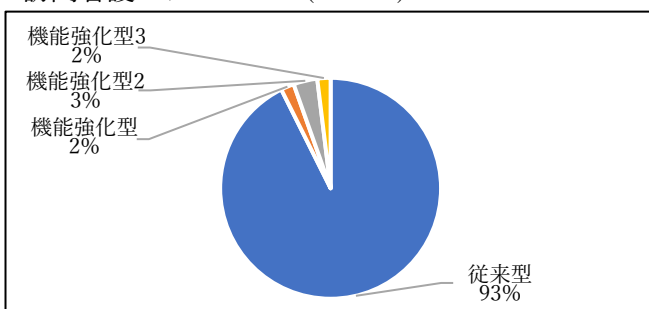
介護老人保健施設(n=49)



介護老人福祉施設(n=61)



訪問看護ステーション(n=258)

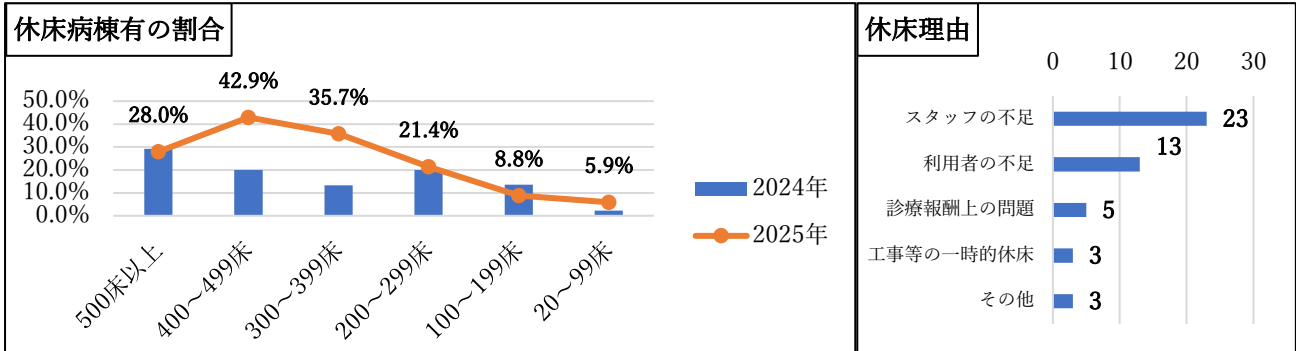


令和7年度医療機関等看護職員需要調査 ダイジェスト

2. 調査結果

(1) 病院における休床病棟の状況

- ・病院において、休床病棟を有する施設は、165施設中28施設で17.0% (R6:13.9%)と増加。規模別では、400～499床で42.9% (7施設中3施設)、300～399床で35.7% (14施設中5施設)と高い。
- ・休床の理由では、スタッフの不足が23施設 (48.9%)で最も多く、次いで、利用者の不足が13施設 (27.7%)であった。(*複数回答)



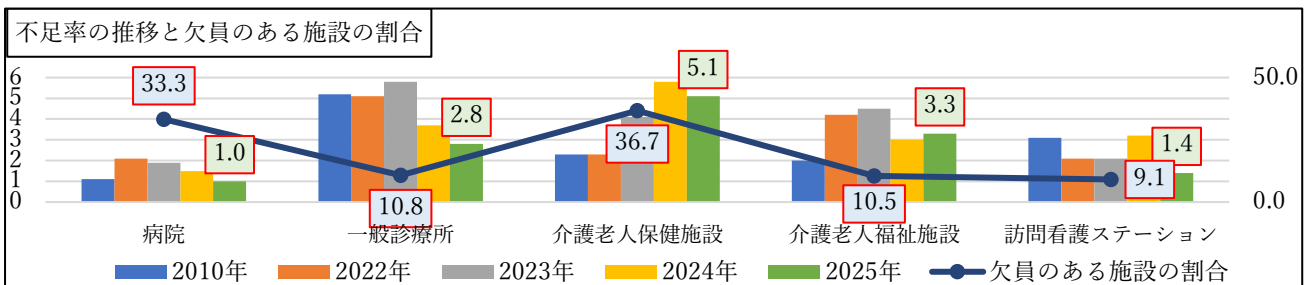
(2) 看護職員の就業状況

①看護職員の施設別欠員数及び不足率* 「不足率」= 欠員数 / (現員数 + 欠員数) × 100

*欠員数を現員数と欠員数を足して割ったもの。いわゆる施設の手不足の状況を示す。

- ・施設別にみると、不足率が最も高かったのは介護老人保健施設で5.1% (R6:5.8%)であった。次いで、介護老人福祉施設 (3.3%)、診療所 (2.8%)、訪問看護ステーション (1.4%)、病院 (1.0%)の順であった。
- ・欠員がある施設の割合では、介護老人保健施設が49施設中18施設で36.7% (R6:34.2%)で最も高く、次いで、病院33.3% (R6:37.6%)であった。

	A 現員数 (人)					B 欠員数 (人)					C 不足率 (B / (A+B))					欠員のある施設の割合
	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計	
病院	100	1,049	33,472	1,203	35,824	0	15	357	4	376	0.0%	1.4%	1.1%	0.3%	1.0%	52/156 33.3%
一般診療所	0	23	349	70	443	0	2	10	1	13	-	7.9%	2.8%	1.4%	2.8%	10/93 10.8%
介護老人保健施設	0	-	463	164	627	0	-	31	3	34	-	-	6.3%	1.8%	5.1%	18/49 36.7%
介護老人福祉施設	0	-	250	77	327	0	-	8	3	11	-	-	3.1%	3.8%	3.3%	6/57 10.5%
訪問看護ステーション	8	1	1,422	80	1,512	0	0	21	0	21	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	1.4%	21/232 9.1%



令和7年度医療機関等看護職員需要調査 ダイジェスト

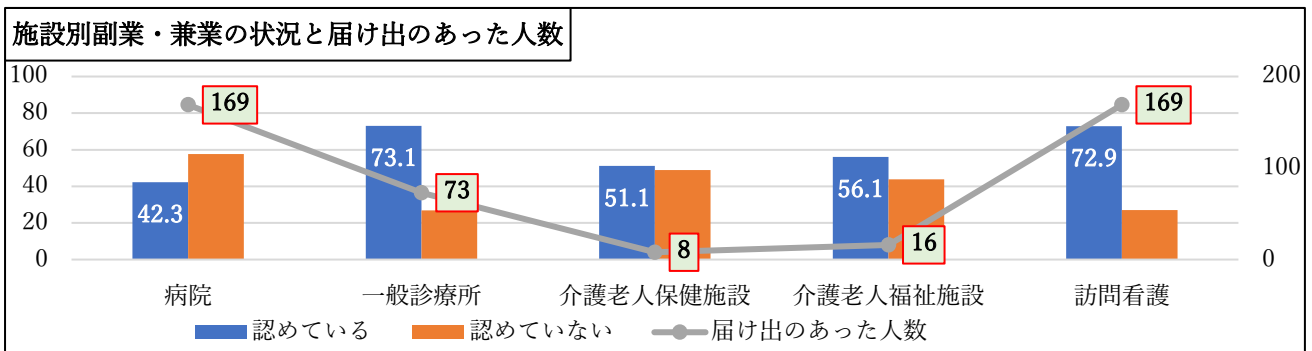
②勤務形態

- 勤務形態については、「日勤のみ（常勤）」が85.5%で最も高く、次いで、「短時間勤務（非常勤）」68.2%、「短時間勤務（常勤）」42.5%の順だった。

	病院		一般診療所		介護老人保健施設		介護老人福祉施設		訪問看護ステーション		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
日勤のみ（常勤）	139	83.7%	80	77.7%	44	89.8%	56	91.8%	218	87.6%	537	85.5%
短時間勤務（常勤）	129	77.7%	30	29.1%	17	34.7%	10	16.4%	81	32.5%	267	42.5%
短時間勤務（非常勤）	132	79.5%	55	53.4%	33	67.3%	43	70.5%	165	66.3%	428	68.2%
夜勤専従（非常勤）	66	39.8%	5	4.9%	13	26.5%	7	11.5%	30	12.0%	121	19.3%
その他	13	7.8%	6	5.8%	5	10.2%	2	3.3%	22	8.8%	48	7.6%
有効回答施設数	166	100.0%	103	100.0%	49	100.0%	61	100.0%	249	100.0%	628	100.0%

③副業・兼業の状況

- 施設別の副業・兼業の状況については、一般診療所、訪問看護ステーションが7割台と高値であった。その他の施設は5～4割台を示している。



(3) 看護職員の採用の状況

①看護職員の充足状況（充足率※） 「充足率」＝採用者数／募集人数×100

※充足率とは、求人に対してどの程度の採用が見込めたかを数値で表したもの

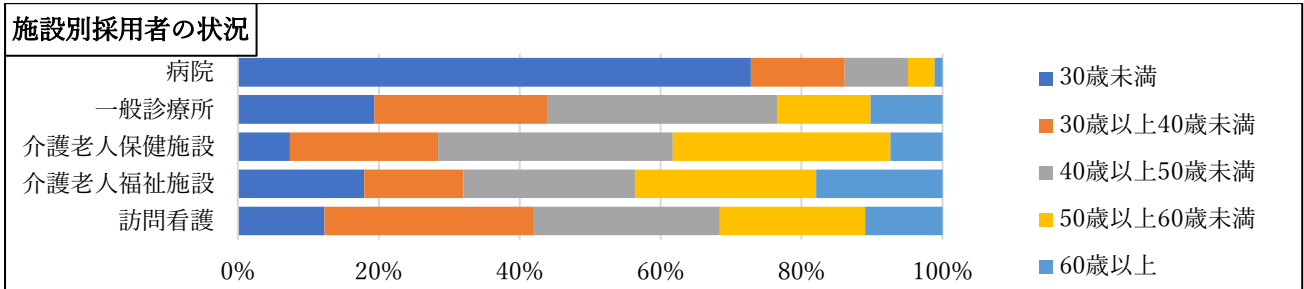
- 全体の充足率は、募集4,941人に対し採用数は4,045人と81.9%（R6：81.7%）だった。
- 施設別にみると、病院（85.6%）が最も高く、次いで、訪問看護ステーション（68.4%）、介護老人福祉施設（64.4%）、介護老人保健施設（56.0%）、一般診療所（53.5%）の順だった。

		病院		一般診療所		介護老人保健施設		介護老人福祉施設		訪問看護ステーション		合計	
		募集人員	採用人数	募集人員	採用人数	募集人員	採用人数	募集人員	採用人数	募集人員	採用人数	募集人員	採用人数
保健師	募集人員	9	3	0	0	0	1	13					
	採用人数	8	3	0	0	0	0	11					
	充足率	88.9%	100.0%	-	-	0.0%	84.6%						
助産師	募集人員	134	10				0	144					
	採用人数	83	7				0	90					
	充足率	61.9%	70.0%				-	62.5%					
看護師	募集人員	3,844	114	74	74	478	4,584						
	採用人数	3,391	65	46	56	335	3,893						
	充足率	88.2%	57.0%	62.2%	75.7%	70.1%	84.9%						
准看護師	募集人員	104	28	17	27	24	200						
	採用人数	20	8	5	9	9	51						
	充足率	19.2%	28.6%	29.4%	33.3%	37.5%	25.5%						
合計	募集人員	4,091	155	91	101	503	4,941						
	採用人数	3,502	83	51	65	344	4,045						
	充足率	85.6%	53.5%	56.0%	64.4%	68.4%	81.9%						
	() R6 結果	(86.7%)	(65.4%)	(44.2%)	(50.4%)	(68.4%)	(81.7%)						
	充足率変化	▲1.1%	▲11.9%	+11.8%	+14.0%	0%	+0.2%						

令和7年度医療機関等看護職員需要調査 ダイジェスト

②施設別採用者の状況

- ・新卒入職の多い病院では30歳未満が多い。
- ・50歳以上の雇用では、介護系の施設で多い傾向にある。



③病院病床規模別新卒者の募集状況（過去3年間）

【病院病床規模別新卒者の募集状況等】

- ・全国調査と施設区分は異なるが、20～99床では6割台が新卒者の募集をしていないという状況は一致していた。
- ・全国調査では、400床以上は25.0%が新卒者を募集していないという結果であったが、本調査では、400床以上の病院は、すべて新卒者を募集しているという結果であった。
- ・募集をしない理由では、最も多いのが「育成する時間・体制がない」が76.5%で最も高く、次いで「経験やスキルが必要」が64.7%、「募集をしても応募が無い」が23.5%という結果であった。

新卒者の募集状況

病床規模	本調査			回答数	全国調査	
	募集有	募集無	無割合		無割合	
500床以上	25	0	0.0%	25	25.0%	
400～499床	8	0	0.0%	8		
300～399床	13	1	7.1%	14	31.4%	
200～299床	25	3	10.7%	28		
100～199床	44	11	20.0%	55	66.8%	
20～99床	12	21	63.6%	33		
計	127	36	22.1%	163		

新卒者を募集しない理由

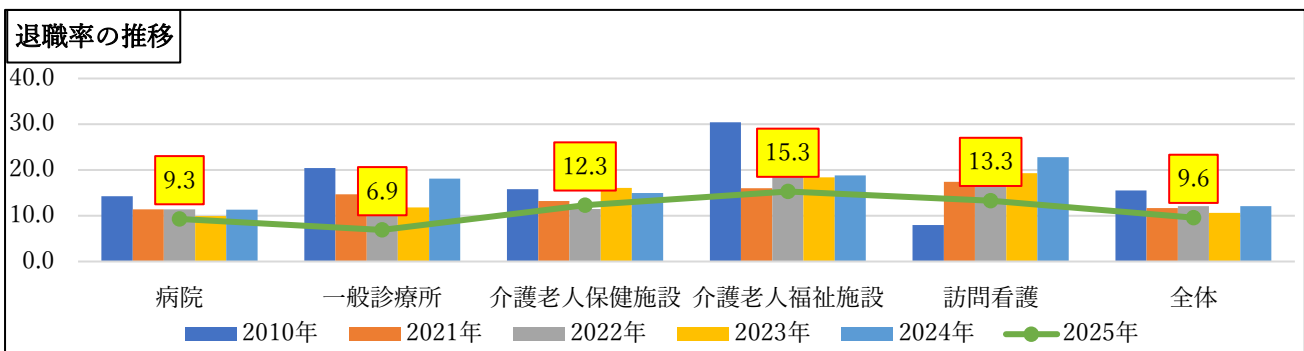
理由	回答数	回答率
施設の定員が充足	1	2.9%
育成する時間・体制がない	26	76.5%
募集をしても応募がない	8	23.5%
経験やスキルが必要	22	64.7%
その他	1	2.9%

※全国調査：病床規模別の看護師採用状況および採用活動の実態：全国調査（2021.10）

(4) 看護職員の退職の状況

①退職率※ 「退職率」=退職数/4月1日の在籍者数×100

- ・退職率は全体で9.6%（R6:12.1%）と昨年より低下していた。
- ・施設別では、すべての施設で低下していた。

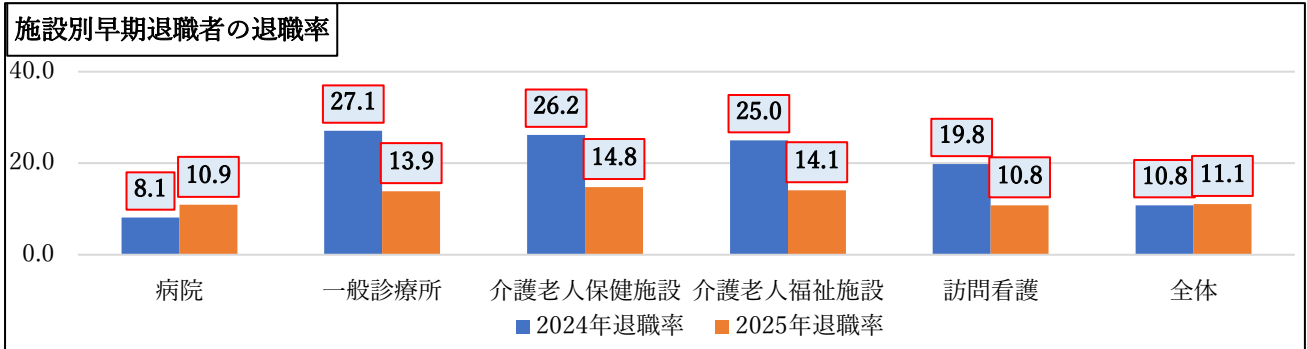


※2025年（2024年度の退職率）・2024年（2023年度の退職率）として表記

令和7年度医療機関等看護職員需要調査 ダイジェスト

②施設別早期退職者の状況

【施設別早期退職者の退職率】 退職率＝令和6年度早期退職者数÷令和6年度採用者総数
 ・早期退職者の退職率は全体では11.1%で、病院10.9%（R6:8.1%）のみ増加した。

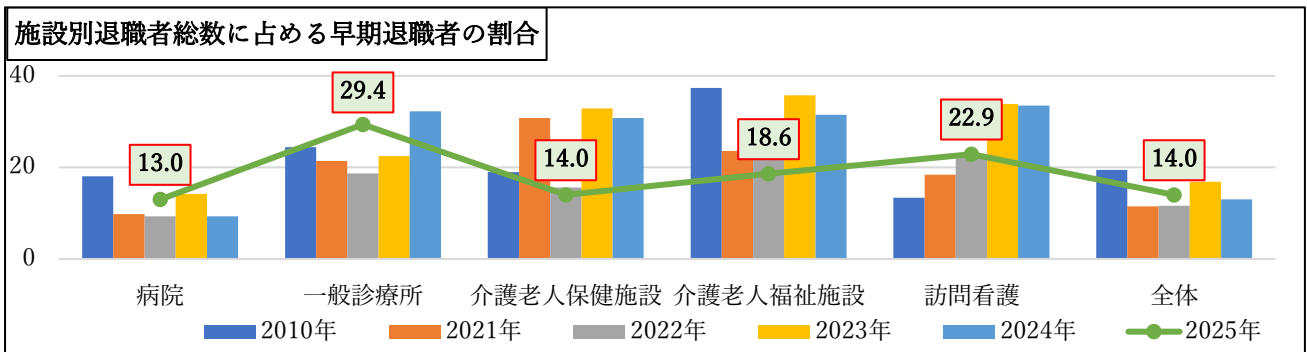


※早期退職者…令和6年度採用者のうち年度内での退職者

※2024年早期退職者は在職者の回答が無回答もしくは「0」と回答した施設を集計対象に含み、2025年早期退職者は同回答施設を集計対象から外している。

【退職者総数に占める早期退職者の割合】

・早期退職者の割合は、全体では、14.0%（R6:13.0%）で昨年度より増加している。要因として病院13.0%（R6:9.3%）のみ増加している。



※2024年早期退職者は在職者の回答が無回答もしくは「0」と回答した施設を集計対象に含み、2025年早期退職者は同回答施設を集計対象から外している。

【病院病床規模別新卒者・既卒者退職率】

	新卒者	既卒者
500床以上	9.4%	11.0%
400～499床	9.0%	11.8%
300～399床	5.8%	10.1%
200～299床	8.5%	7.8%
100～199床	11.0%	16.2%
20～99床	10.0%	13.2%
計	9.1%	12.5%

- ・病院の早期退職者は、新卒者9.1%（R6:8.4%）、既卒者12.5%（R6:11.9%）と増加している。
- ・病床規模別では、新卒者の退職率は100～199床が11.0%と最も高く、既卒者の退職率も、100～199床が16.2%と最も高くなった。

令和7年度医療機関等看護職員需要調査 ダイジェスト

③施設別早期退職者の退職理由

- ・全体の早期退職理由の1位は「精神的不調」22.5%、2位は「転職」15.4%、3位は「職場不適合」14.5%の順だった。
- ・施設別にみると、「精神的不調」は病院が26.9%、「転職」は一般診療所が16.7%、「職場不適合」は介護老人保健施設が38.5%と高値だった。

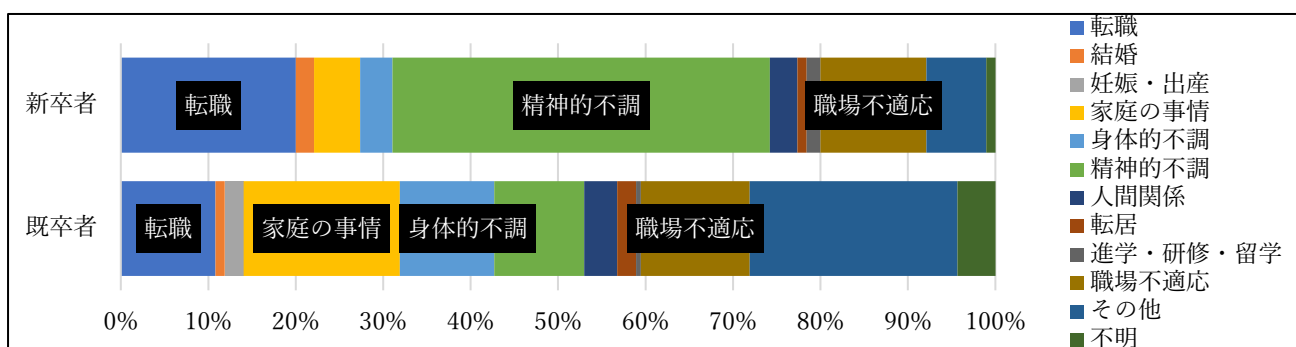
	1位		2位		3位	
	理由	割合	理由	割合	理由	割合
全体	精神的不調	22.5%	転職	15.4%	職場不適合	14.5%
病院 (n=375)	精神的不調	26.9%	転職	15.5%	職場不適合	12.3%
一般診療所 (n=18)	職場不適合	22.2%	転職	16.7%	家庭の事情、精神的 不調、人間関係	11.1%
介護老人保健施設 (n=13)	職場不適合	38.5%	家庭の事情	30.8%	身体的不調、人間関 係	7.7%
介護老人福祉施設 (n=11)	職場不適合	27.3%	家庭の事情	18.2%	転職、身体的不調、精 神的な不調、人間関係	9.1%
訪問看護ステーション (n=58)	転職	19.0%	職場不適合	15.5%	身体的不調	13.8%

※本調査は在職者の回答が無回答もしくは「0」の施設の回答は集計から除いている。

【病院における新卒者・既卒者の早期退職者の退職理由】

- ・新卒者の早期退職の理由は、「精神的な不調」が43.2%で最も高く、次いで、「転職」20.0%、「職場不適合」12.1%の順だった。既卒者では、「家庭の事情」が17.8%で最も高く、次いで、「職場不適合」12.4%、「転職」「身体的な不調」10.8%の順だった。

	1位		2位		3位	
	理由	割合	理由	割合	理由	割合
新卒者 (n=190)	精神的な不調	43.2%	転職	20.0%	職場不適合	12.1%
既卒者 (n=185)	家庭の事情	17.8%	職場不適合	12.4%	転職・身体的な不調	10.8%
病院合計	精神的な不調	26.9%	転職	15.5%	職場不適合	12.3%

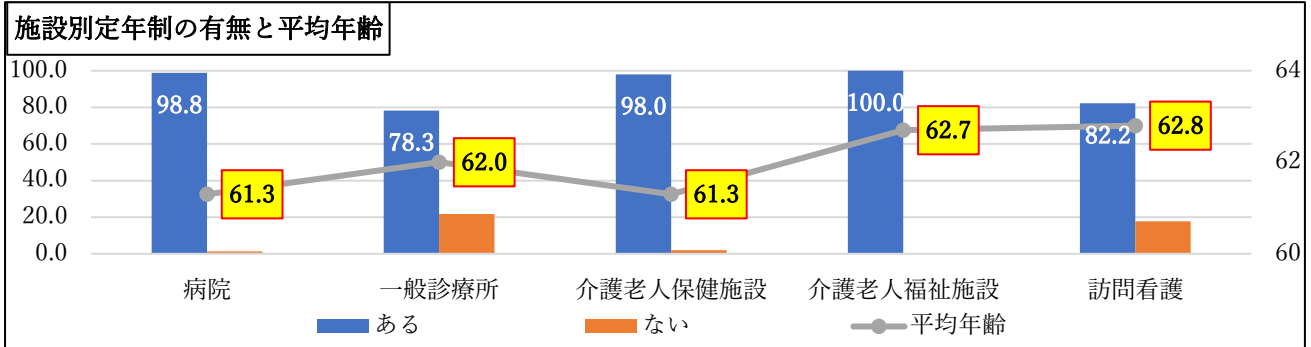


令和7年度医療機関等看護職員需要調査 ダイジェスト

(5) 定年制・再雇用制度の導入状況

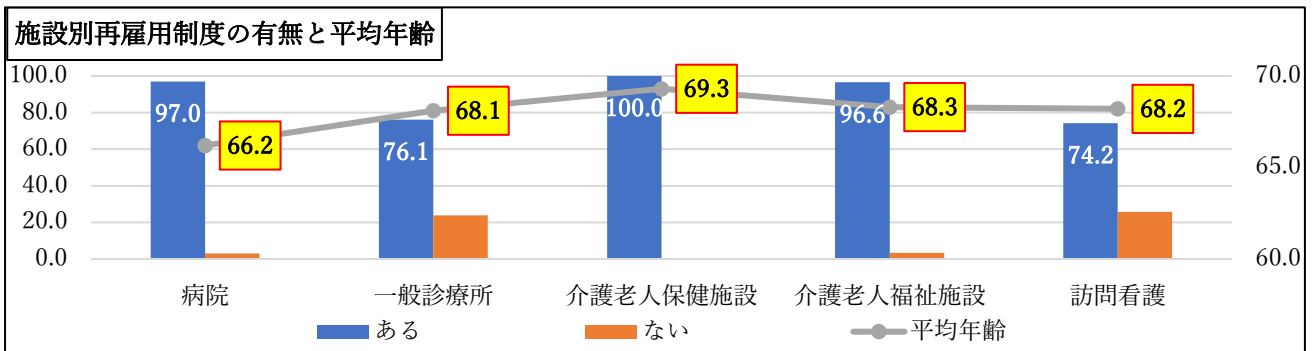
①施設別定年制の有無

- 施設別の定年制の有無では、病院、介護老人保健施設、介護老人福祉施設が約10割と高値であった。その他の施設も70～80%台であり高値を示している。
- 定年制の平均年齢は訪問介護ステーションが62.8歳と最も高かった。



②施設別再雇用制度の有無

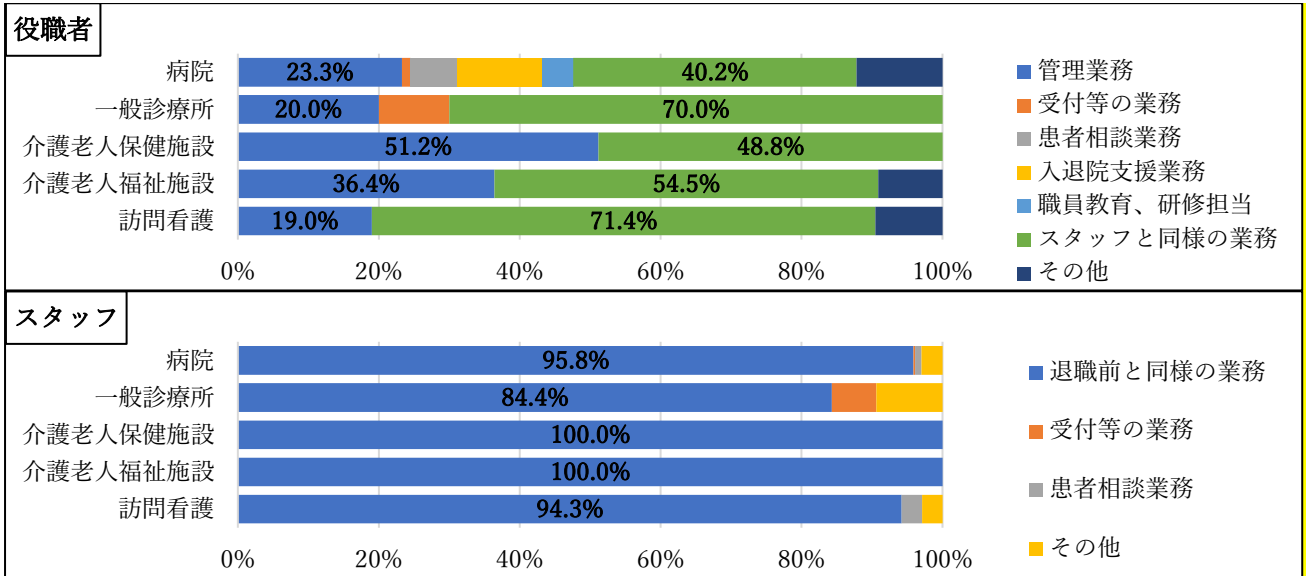
- 施設別の再雇用制度の有無では、病院、介護老人保健施設、介護老人福祉施設が約10割と高値であった。その他の施設も70%台であり高値を示している。
- 再雇用制度の上限年齢は介護老人保健施設が69.3歳と最も高かった。



令和7年度医療機関等看護職員需要調査 ダイジェスト

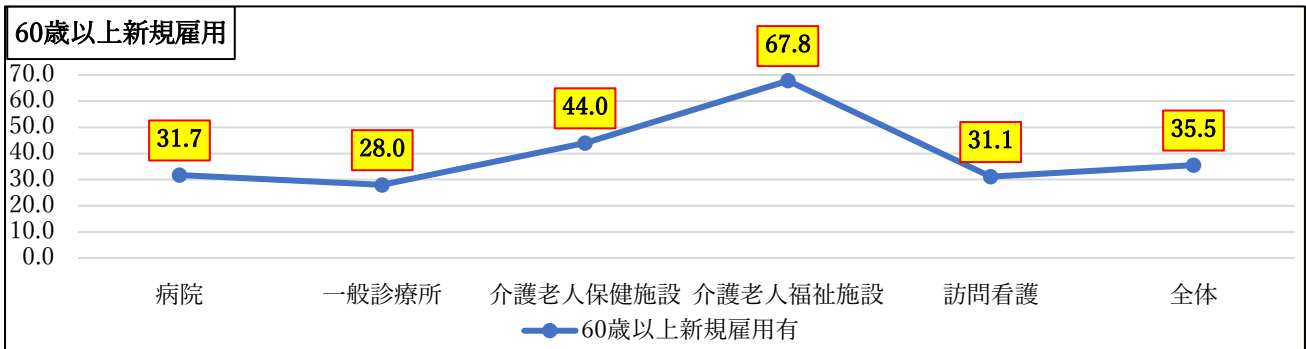
③施設別役職者・スタッフの再雇用後の業務内容

- 再雇用で働いている「役職者」の主な業務については、介護老人保健施設を除くすべての施設で「スタッフと同様の業務」が最も高く、病院が40.2%（R6:38.1%）、一般診療所が70.0%（R6:68.2%）、介護老人福祉施設が54.5%（R6:68.8%）、訪問看護ステーションが71.4%（R6:35.9%）だった。
- 「役職者以外のスタッフ」の主な業務については、いずれの施設でも「退職前と同様の業務」が最も高かった。



④施設別 60歳以上新規雇用有無

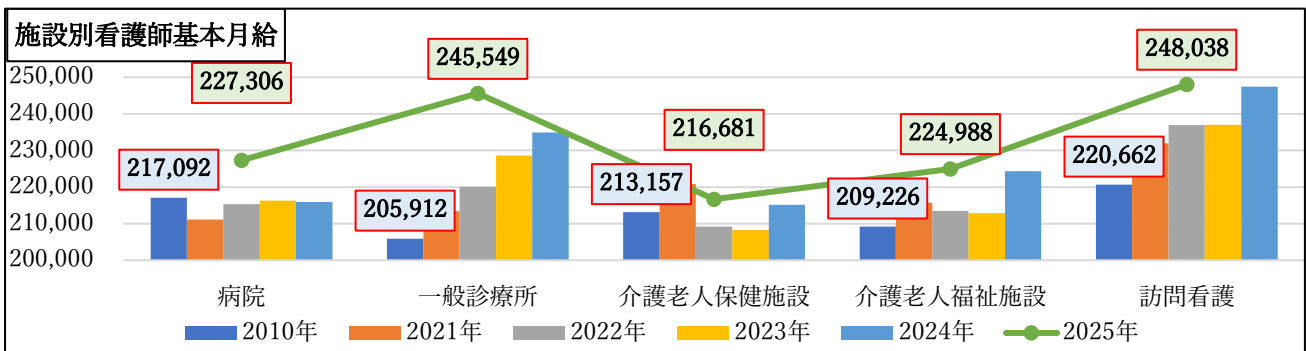
- 60歳以上の新規雇用では「雇用している」が35.5%で、特に介護老人福祉施設が67.8%と高い。



(6) 看護職員の給与

【施設別看護師基本月給】

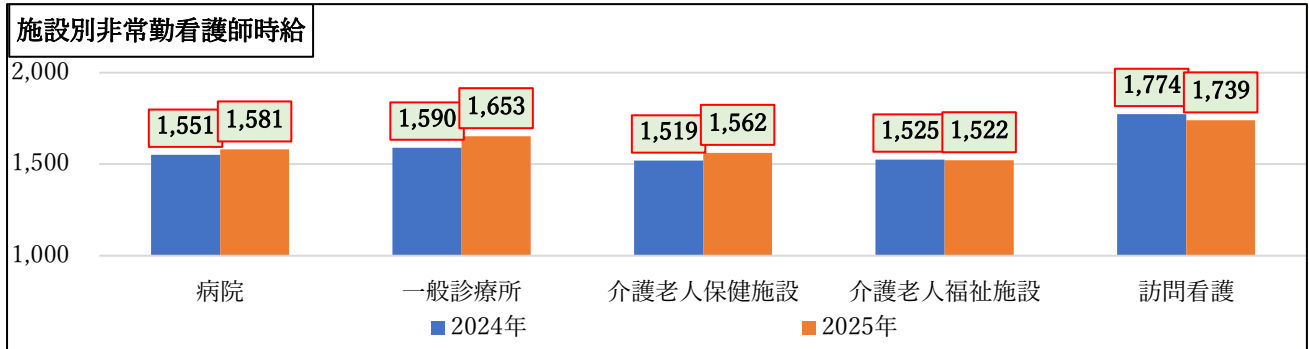
- 最も高いのは訪問看護ステーションで、次いで、一般診療所の順であった。
- 全体的に給与は増加傾向にあるが、2010年と比較すると、一般診療所及び訪問看護施設で特に増加している。



令和7年度医療機関等看護職員需要調査 ダイジェスト

【施設別非常勤看護師時給】

- ・最も高いのは訪問看護ステーションで、次いで、一般診療所の順であった。
- ・昨年と比較して全体的に時給は増加傾向にある。



(7) 看護職員の確保・定着のための取組事項等

【施設別看護職員の確保・定着のための取組事項】

- ・全体の理由の1位は「有給休暇取得促進」72.9%、2位は「人員体制の見直し」60.0%、3位は「看護業務の改善（既存業務の整理・見直し、多職種への一部業務移譲等）」58.3%の順だった。

	1位		2位		3位	
	理由	割合	理由	割合	理由	割合
全体	有給休暇取得促進	72.9%	人員体制の見直し	60.0%	看護業務の改善	58.3%
病院	看護業務の改善、有給休暇取得促進	79.5%	人員体制の見直し	75.9%	離職防止の取組	67.5%
一般診療所	有給休暇取得促進	58.4%	人員体制の見直し	54.0%	給与・手当の増額	51.3%
介護老人保健施設	有給休暇取得促進	72.0%	再雇用制度の推進	60.0%	人員体制の見直し	56.0%
介護老人福祉施設	有給休暇取得促進	71.9%	看護業務の改善	64.9%	離職防止の取組	54.4%
訪問看護ステーション	有給休暇取得促進	75.4%	IT化	61.3%	看護業務の改善	57.8%

- ・全体の効果があった取組の1位は「有給休暇取得促進」38.7%、2位は「給与・手当の増額」28.3%、3位は「多様な勤務体制の導入（短時間正規職員、夜勤専従職員、フレックス制等）による勤務体制の改善」24.3%の順だった。

	1位		2位		3位	
	理由	割合	理由	割合	理由	割合
全体	有給休暇取得促進	38.7%	給与・手当の増額	28.3%	多様な勤務体制の導入	24.3%
病院	有給休暇取得促進	31.8%	多様な勤務体制の導入	27.9%	人員体制の見直し	20.1%
一般診療所	給与・手当の増額	46.2%	有給休暇取得促進	43.6%	人員体制の見直し	24.4%
介護老人保健施設	有給休暇取得促進	56.1%	人員体制の見直し	26.8%	離職防止の取組	24.4%
介護老人福祉施設	給与・手当の増額、有給休暇取得促進	33.3%	看護業務の改善	31.1%	人員体制の見直し	28.9%
訪問看護ステーション	有給休暇取得促進	39.5%	給与・手当の増額	29.5%	多様な勤務体制の導入	29.1%

(8) 有料職業紹介所の利用有無

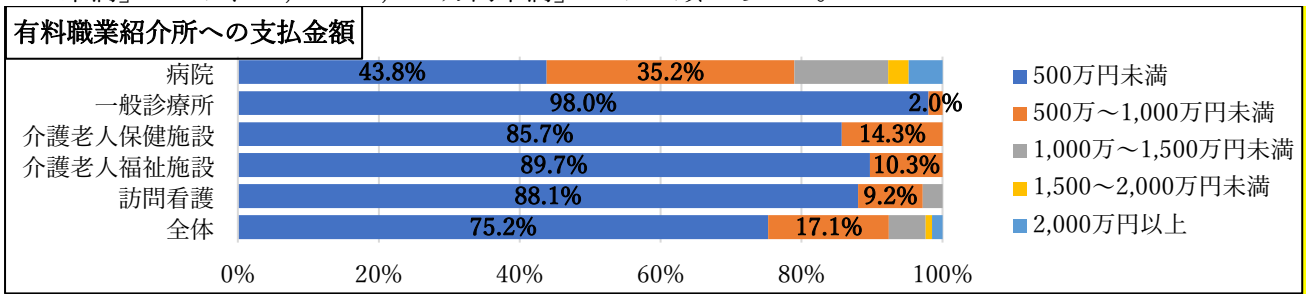
【施設別有料職業紹介所の利用有無】

- ・有料職業紹介所の使用状況では、最も多いのは介護老人保健施設の80.9%、次いで、病院の67.1%であった。全体でも57.6%と5割強を占めているという結果であった。
- ・1施設当たりの採用数では、病院が6.9人（61施設で420人採用）という結果であった。

	無	有	有の割合	採用者数の回答施設数	採用者数	採用者数/1施設(人)
病院	53	108	67.1%	61	420	6.9
一般診療所	60	49	45.0%	31	24	0.8
介護老人保健施設	9	38	80.9%	19	45	2.4
介護老人福祉施設	24	31	56.4%	21	14	0.7
訪問看護ステーション	109	120	52.4%	72	70	1.0
全体	255	346	57.6%	204	573	2.8

令和7年度医療機関等看護職員需要調査 ダイジェスト

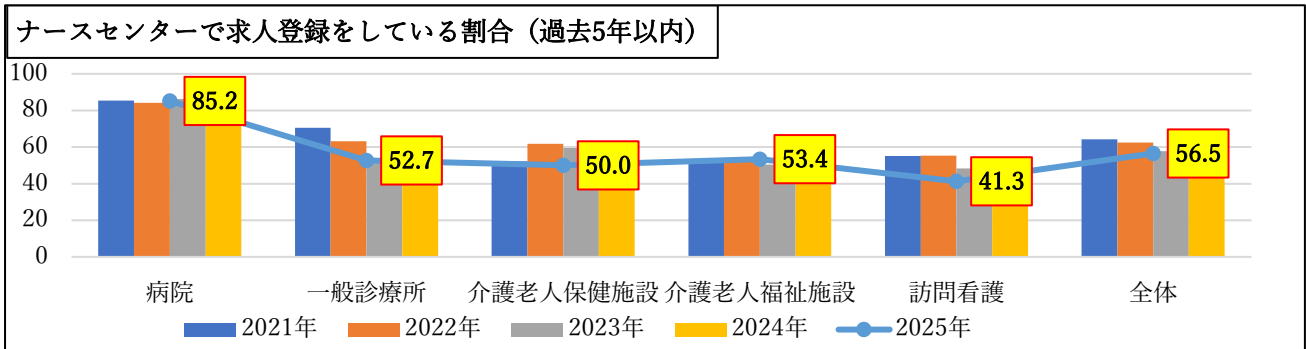
・有料職業紹介所への支払金額は、「500万円未満」が74.6%で最も高く、次いで、「500～1,000万円未満」17.1%、「1,000～1,500万円未満」5.5%の順であった。



(9) ナースセンターの認知度

【施設別ナースセンターでの求人登録有無】

・ナースセンターで求人登録している割合（過去5年間）は、病院以外が40～50%前後であった。



【施設別ナースセンターを利用しない理由】

・ナースセンターを利用しない理由では、全体は「ハローワークの利用」が36.4%と最も高く、次いで「自己採用」の32.4%であった。「有料職業紹介所の利用」が最も多いのは介護老人保健施設の54.2%、次いで病院の33.3%であった。

	自己採用	ハローワーク	有料紹介所	無料知らない	登録が複雑	利用法不明	紹介がない	求人不要	その他	回答施設数
病院	6	9	8	5	1	5	2	0	4	24
	25.0%	37.5%	33.3%	20.8%	4.2%	20.8%	8.3%	0.0%	16.7%	
一般診療所	21	20	11	6	1	11	5	11	3	52
	40.4%	38.5%	21.2%	11.5%	1.9%	21.2%	9.6%	21.2%	5.8%	
介護老人保健施設	5	9	13	2	4	6	3	3	1	24
	20.8%	37.5%	54.2%	8.3%	16.7%	25.0%	12.5%	12.5%	4.2%	
介護老人福祉施設	12	16	6	2	0	6	3	5	0	27
	44.4%	59.3%	22.2%	7.4%	0.0%	22.2%	11.1%	18.5%	0.0%	
訪問看護	44	45	46	17	8	34	8	8	17	145
	30.3%	31.0%	31.7%	11.7%	5.5%	23.4%	5.5%	5.5%	11.7%	
計	88	99	84	32	14	62	21	27	25	272
	32.4%	36.4%	30.9%	11.8%	5.1%	22.8%	7.7%	9.9%	9.2%	